



令和7年度学力向上交流会を開催しました!

過日開催されました「令和7年度学力向上交流会」では、校務御多用の中、180名を超える先生方に御参加いただき誠にありがとうございました。本号では、交流会の様子や皆様からいただいたアンケートの集計結果についてお知らせいたします。

1 全体会の様子

【千葉県教育庁南房総教育事務所 田中宏知所長 挨拶（概要）】

千葉県教育委員会は第4期教育振興基本計画のもと、「ちばっ子『学力向上』総合プラン」を見直し、新たに「明日からの指導に役立つCHIBAの学力向上施策一覧」を作成しました。その中の「学力向上交流会」では、県・市町教育委員会と学校が連携し、児童生徒の学力向上や教員の授業改善を目指しています。また、「ちばっ子の学び変革推進事業」では研究指定校4校がこれまでの実践を発表し、他校への共有を通じて教育の質向上を図ります。参加者は得た情報を各市町や学校で共有し、取組の改善に活かすことが期待されています。南房総教育事務所も意見を参考に、さらなる学力向上と授業改善に取り組む方針です。

【「ちばっ子学び変革」推進事業研究指定校発表】※各校の研究主題

令和7年度から2年間、県からの指定を受け、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進している学校です。

<君津市立周西小学校>（教科等横断）

研究主題；「自ら考え、発信できる児童の育成～単元計画の作成と実践を通して～」

<市原市立辰巳台中学校>（数学科）

研究主題；「いきいきと自ら考え・気づき・多様な人々と協働する力の育成」

<市原市立国分寺台西小学校>（算数科）

研究主題；「自分の頭で考え、自分の言葉で表現できる児童の育成

～自分で考え、自分から取り組む児童を育成するための授業改善を通して～」

<富津市立天羽中学校>（理科）

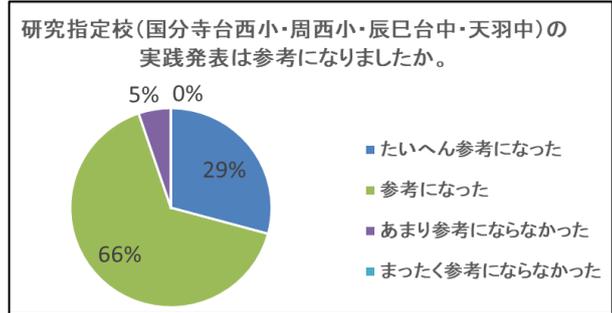
研究主題；「主体的に学び、自分の思いや考えを表現できる生徒の育成

～理科の探究過程における「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な授業づくりを通して～」



各校とも全国学力・学習状況調査をはじめとした各種データを基に、自校の学力を分析し、研究主題にあるめざす児童生徒の育成に向け、様々な手立てを講じ、取り組んでいました。取組における成果と課題も分かりやすくまとめてあり、学力向上検証において、よいモデルとなりました。御協力ありがとうございました。

【参加者アンケート自由記述 研究指定校発表】



1. 実践・工夫からの学び

・具体的な実践や研究、課題を知ることができ、自校と共通する悩みや工夫を共有できた。

2. 指導・学力向上の具体策

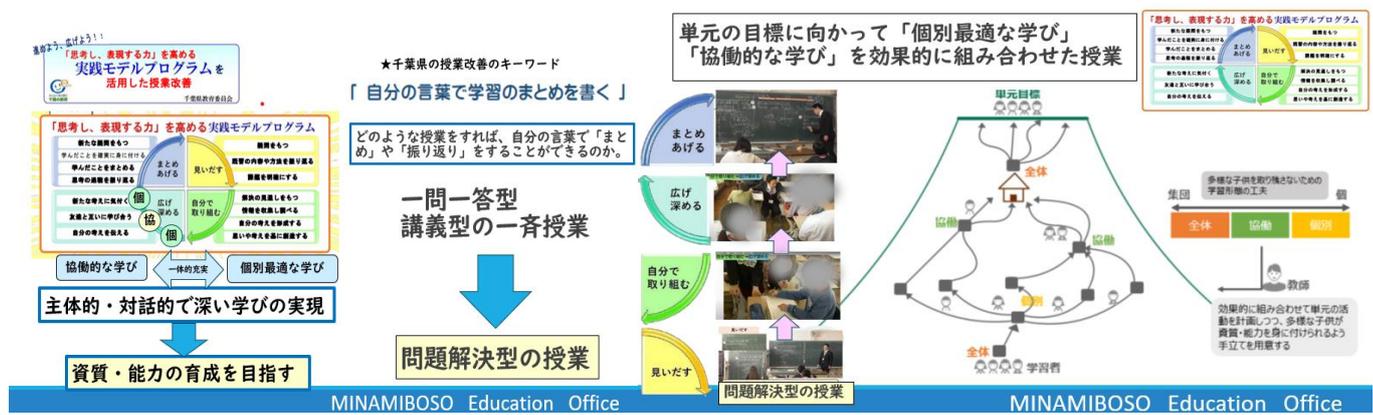
・習熟度別指導、ICT活用、発信力を育てる取組など、自校に生かせる具体的な手立てを多く知ることができた。
 ・「自分の言葉でまとめる」「相手に伝えることを意識する」など表現力や発信力を高める工夫が参考になった。

3. 今後の実践への意欲と展望

・校種を問わず、多様な実態の学校の取組を知り、より広い視野から自校の課題や今後の方向性を考える良い機会になった。
 ・研究指定校の先進的な取組や、他教科への展開例も今後の研修、校内研修に活用したい。

研究校の取組を自校に取り入れ、学力向上に取り組んでいきたいという意見が多く挙げられました。

【教育事務所より「今求められている学力と授業改善」】

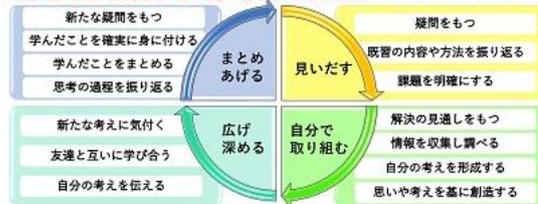


単元の目標に向かって、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を、一体的に充実させることが重要です。児童生徒の学びの状況に応じて「個別」と「協働」を往還しながら、学びを進めていきましょう。また、授業改善のキーワードにもある、「自分の言葉で学習のまとめを書く」活動は、学習内容を理解すること、自分の考えを記述する力の向上につながっていきます。引き続き各学校での取組をお願いします。



授業改善のための「セルフチェックシート」R4～			
学年	科目	担当者	実施日
4	1	1	1
4	2	2	2
4	3	3	3
4	4	4	4
4	5	5	5
4	6	6	6
4	7	7	7
4	8	8	8
4	9	9	9
4	10	10	10
4	11	11	11
4	12	12	12
4	13	13	13
4	14	14	14
4	15	15	15
4	16	16	16
4	17	17	17
4	18	18	18
4	19	19	19
4	20	20	20
4	21	21	21
4	22	22	22
4	23	23	23
4	24	24	24
4	25	25	25
4	26	26	26
4	27	27	27
4	28	28	28
4	29	29	29
4	30	30	30

「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラム



「一問一答型」や「教師が一方向的に話をする講義型」の一斉授業のみではなく、問題解決型の授業展開ができるよう私たちの授業改善が求められます。引き続き、セルフチェックシート及び実践モデルプログラムを御活用ください。

セルフチェックシート PDFはこちら



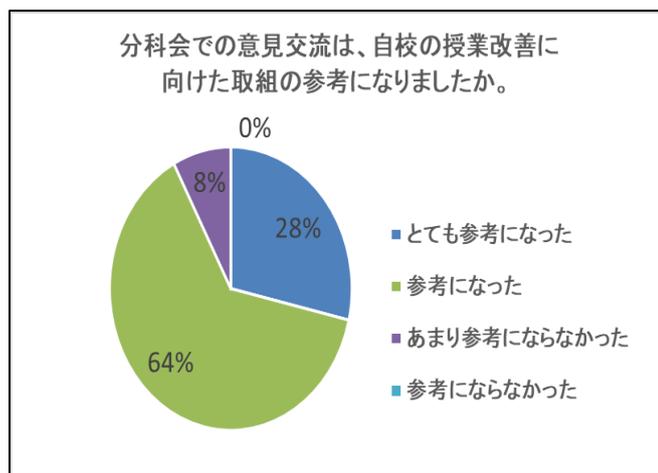
2 分科会の様子



今年の分科会のテーマは「本校における授業改善の取組」でした。各学校から提出されたレポートをもとに、12グループに分かれて情報交換が活発に行われました。若年層教員に向けた研修、「一人一実践」「相互参観」「ミニ授業研」に取り組んでいる等、学校の具体的な実践が紹介されました。また、全職員を対象に要請訪問を依頼し、授業力を高めている学校もあり、授業力向上に向けた様々な取組が話題になりました。さら

に、ICTを授業の中で有効活用するための方法や、デジタル教育支援ツールの情報交換も多く行われていました。

【参加者アンケート自由記述 分科会 主な意見】



※主に4つの意見が出されました。

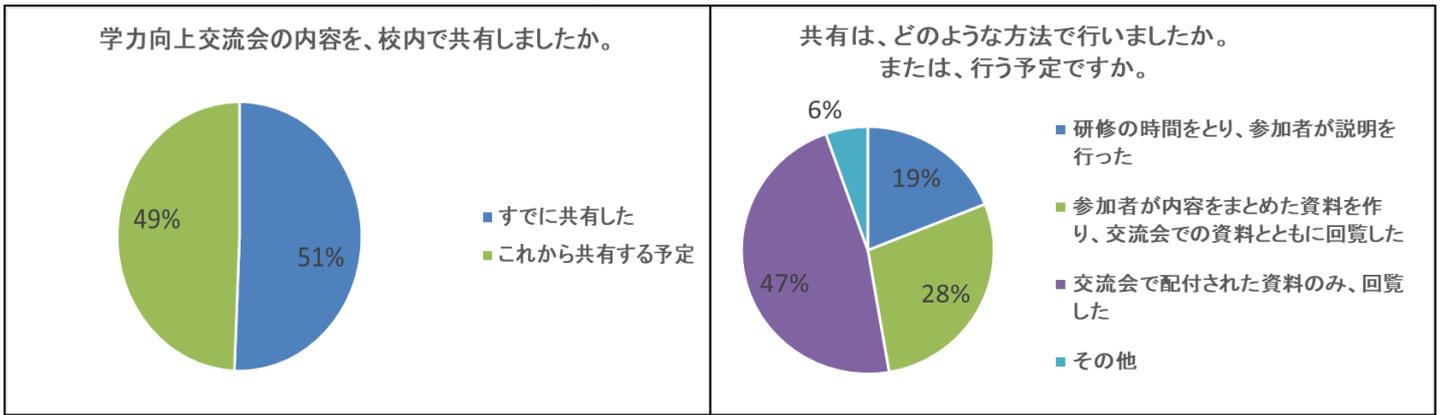
- 他校の具体的な取組の情報共有
 - 他校の事例や特色ある実践を知ることができた。
- 授業力向上・若手教員の育成
 - 若年層教員の授業力向上のための取組や校内研修の工夫について情報交換ができた。
 - 相互参観やミニ授業研、研修の時期の工夫など、現場の実情に合わせた研修の運営方法が参考になった。
- ICT活用の工夫と課題
 - タブレットやデジタル教材の活用事例、ICTの効果的な使い方を学んだ。
 - ICTは目的ではなくツールであること、活用が学力向上の手段であることを再認識した。

4. 授業改善への具体的な手立て

- 「まとめを自分の言葉で書く」「個別最適な学び」「協働的な学び」への具体的な取組、少人数指導や習熟度別指導、学習規律の統一など、授業改善のための手法や工夫が参考になった。

今年度は、一つのテーマ「本校における授業改善の取組」で分科会を実施しました。9割以上の肯定的なご意見をいただきましたが、運営方法についての御意見もいただきました。来年度に向けてよりよい学力向上交流会になるよう検討していきたいと思ひます。

【学力向上交流会を終えて学校での取組】

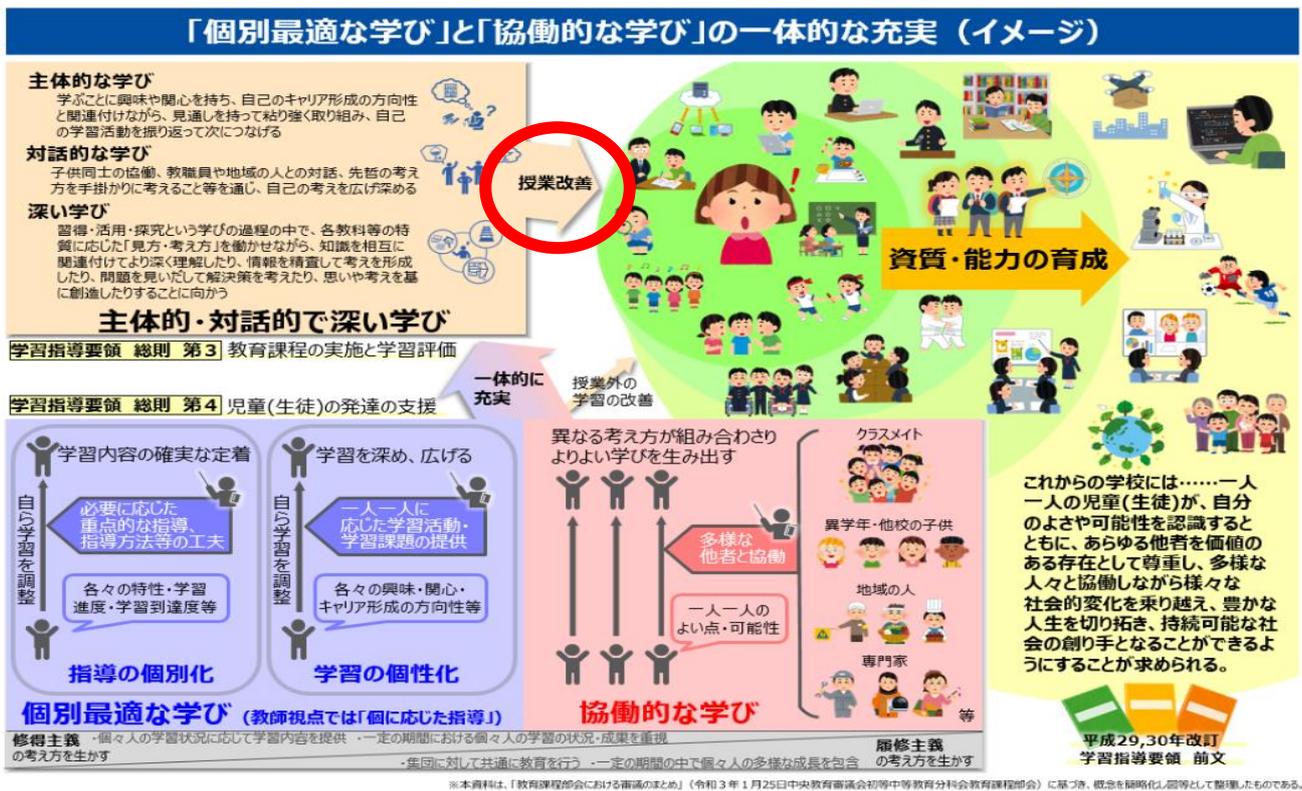


※全体向けの動画視聴はYouTubeで見ることができますので、是非御活用ください。

令和7年10月29日付け事務連絡「令和7年度「学力向上交流会」における参加分科会の決定及び資料の配付等について」にて、URL、二次元コードをお知らせしています。御参照ください。

★★★「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実★★★

文科省「教育課程部会における審議のまとめ」からの資料になります。参考にしてください。



多様な子どもたちを誰一人取り残さない学びのためには、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が必要です。学校と市町教育委員会及び県教育委員会が一体となって取り組んでいきましょう。ぜひ、学力向上交流会での学びを校内研修等でお役立ててください。ともに頑張りましょう！